中学校部活動の地域展開に関するご意見について

ご意見等	回　答
【R8.10.16】 よさこい部を作成してほしい。 愛媛よさこい祭りも大洲市から参加するのは２チーム。他は市外、県外なので、開催している大洲市のチームを増やし盛り上げたい。	ご意見ありがとうございます。 よさこい部を作ってほしいというご意見については、YOSAKOI の祭りも開催されており、関心や参加を希望する声も多く聞いています。地域クラブ活動は、活動を担う団体があって成り立つことから、こうした声を関係団体等に伝え、団体の意向や体制なども踏まえながら、活動の実現について相談してまいります。
【R8.10.2】 よさこい部があったらいいです。	
【R8.10.2】 サッカーみたい地域クラブの中によさこい部があるといいな。	
【R8.10.1】 よさこい部を作ってほしい！	
【R8.10.1】 ・地域クラブには誰でも入れるように、他の中学の部活に参加できるようにしてほしい。 (例)南中生徒が、北中の部活に通う ・南予以外に母体があるクラブチームは、中体連主催の大会(総体など)には出られないようにしてほしい。練習量や大会の数などに制限がある地域クラブと、制限のないクラブチームでは力量に格差がありすぎて、地域クラブのモチベーションが上がらなくなってしまう。 ・どのようなクラブが増える予定か、それはいつ頃か、予定だけでも教えてほしい。	ご意見ありがとうございます。 １つ目の御質問ですが、学校部活動を地域クラブへ移行する「部活動移行型の地域クラブ」については、現在、サッカーでは全中学校の生徒を対象に募集する形で取り組んでいます。他の競技についても、学校区にとらわれず市内のどの中学校からでも参加できる仕組みを目指していきます。 ただし、参加希望者が非常に多くなった場合には、練習場所や指導者の確保、活動の安全面などを考慮し、地域を分けてチームを編成するなど、競技ごとの状況に応じた対応が必要となる場合があります。 ２つ目の地域クラブ活動と、いわゆるクラブチームとの間では、競技力に差が生じ、地域クラブの活動意欲が低下するのではないかというご心配についてですが、今後、中学校体育連盟（中体連）が主催する大会については、参加できる地域クラブ活動を一定の基準を満たした「認定地域クラブ活動」に整理していく方向で、全国的に制度の見直しが進められています。これにより、活動環境や指導体制など一定の基準を満たした地域クラブ活動と、競技力の向上を主な目的とするクラブチームとのすみ分けが、一定程度図られていくものと考えます。 最後の御質問ですが、現在の学校部活動をもとに、市が創設を目指している７種類の地域クラブ活動をはじめ、既に活動しているクラブや、スポーツ少年団に中学生も参加できる仕組みづくりを進めていきます。 また、スポーツに限らず、地域イベントへの参加や情報発信、ボランティア活動などを行う地域クラブ活動もあることから、他市町の事例も参考にしながら、

	子どもたちがさまざまな活動に参加できる場を広げていきたいと考えています。 　今後も、子どもたちや保護者、地域の皆さんのご意見を伺いながら、関係団体等と連携し、新たな地域クラブ活動が生まれるよう取り組んでまいります。
【R8.9.27】 　これまで放課後の部活動は、生徒たちにとって体力づくりや技術の向上だけでなく、仲間との絆を深めたり、安心して過ごしたりする大切な時間にもなっていました。 　認定地域クラブへの移行によって放課後の部活動がなくなることで、放課後の時間を持て余す子どもが増えるのではないかと心配しています。 　また、活動時間が夕方から夜間に移ることで、子どもたちの睡眠や休息の時間が削られ、学校生活との両立が難しくなるのではないかという懸念もあります。 　さらに、保護者にとっても、平日の夜間に活動する場合は、仕事をしながらの送迎や当番などの負担が増えることが考えられます。その結果、親子でゆっくり過ごす時間が減ってしまうことも心配です。 　家庭によっては、活動費用や送迎、時間的な都合などが参加のハードルとなり、希望していても地域クラブに参加できない子どもが出てくる可能性があります。そうなると、スポーツや文化活動を経験できる機会に格差が生まれ、二極化につながるのではないかと危惧しています。 　子どもたちが安心して放課後を過ごし、誰もが平等に活動の機会を得られる仕組みを整えた上で、地域クラブへの移行を進めていただきたいと思います。	ご意見ありがとうございます。 　部活動が、仲間との絆を深め、安心して過ごすことのできる大切な居場所となっていたことは、十分に認識しております。 　部活動の地域展開を進めるに当たっては、子供たちが放課後を安心して過ごせる居場所を確保するとともに、スポーツや文化活動に親しむ機会を、家庭の状況にかかわらず、できる限り確保していくことが重要であると考えております。 　そのため、認定地域クラブ活動の充実に加え、学校の教育活動時間内における活動の可能性についても検討するとともに、コミュニティセンターなどを活用した多様な活動の場や、地域の中で子供たちが安心して過ごせる居場所づくりについて、関係部署や関係団体と連携しながら検討してまいります。 　また、地域クラブ活動の整備に当たっては、活動時間や休養日、参加に係る費用や送迎などの負担にも配慮し、子供たちが無理なく学校生活と活動を両立できる環境づくりに努めてまいります。 　今後も、子供たち一人ひとりが自分に合った過ごし方や活動を選択でき、誰もが安心して成長できる環境を整えられるよう、地域の実情を踏まえながら、部活動の地域展開を進めてまいります。
【R8.9.10】 　先生方の負担を軽減させるためにも早く地域展開をお願いします。 　毎度ながら、大洲市は動きが遅くないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 　先生方の負担を少しでも軽減するため、部活動の地域展開を早く進めてほしいというご意見は、私たちも大切に受け止めています。 　本市では現在、地域クラブの設立や指導者の確保、学校や関係団体との調整など、地域展開に向けた取組を

	進めています。準備が整った活動から、できるだけ早く地域クラブ活動につなげていくこととしています。 　地域展開を進めるためには、指導者や活動場所、運営体制などを整え、生徒が安心して活動できる環境をつくることも大切です。すべての部活動を一度に地域へ移すことは難しい面もありますが、できるところから着実に進めていきたいと考えています。 　先生方の負担軽減につなげることはもちろん、子どもたちの活動機会をしっかりと確保できるよう、スピード感を持って地域展開に取り組んでまいります。 　今後も、学校や地域の皆様のご意見を伺いながら、よりよい活動環境をつくれるよう取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
【R8.7.18】 　大洲地区に女子バスケットボールのクラブチームを作ってほしいと思います。 　現在、うちの娘は小学生でバスケをしていますが、休日の部活動、平日の部活動がなくなってくると、女子がバスケットボールを続けられる環境は限られてきてしまいます。市外にでればそういった環境はありますが、送り迎えなどを考えても、大洲に作ってもらいたいです。 　大洲地区の子どもたちが大好きなバスケットボールを長く続けられるよう、女子バスケットボールクラブチームの設立をぜひ実現してほしいと願っています。	ご意見ありがとうございます。 　教育委員会では、生徒がこれまで親しんできたスポーツや文化活動をできるだけ継続できるよう、部活動で行われてきた競技等を地域クラブ活動へ移行できるよう準備を進めております。 　女子バスケットボールにつきましては、市内のスポーツ少年団において多くの小学生が活動していることから、中学校進学後も継続して活動できる環境づくりは重要な課題であると認識しております。 　いただいた御意見を踏まえ、競技団体等と連携しながら、指導者の確保や運営体制の構築について検討を進めるとともに、女子バスケットボールの地域クラブ設立も視野に入れ、子どもたちが地域で継続して活動できる環境づくりに努めてまいります。